

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-110	Year Month Day Time 2011 年 5 月 4 日 16 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
延岡学園	(24 1st 21 27 2nd 22 32 3rd 26 37 4th 18 OT)	能代工高
120 ○		87 ●

主審:Referee 片寄 達 (宮城県)
副審:Umpire 久米 克弥 (秋田県)
副審:Umpire 加川 真 (宮城県)

テーブル・オフィシャルズ:Table officials

能代高校

No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	岩田 大輝	cap	16	2	5	0	4	4	×	志水 一希	CAP	8	0	1	6	2
5	×	ジョフ バンバ		48	0	20	8	2	5	/	中村 正也		6	0	1	4	4
6	×	寺原 拓史		4	1	0	1	5	6	×	溝坂 太成		2	0	1	0	0
7	×	黒木 亮		15	0	7	1	3	7	/	田中 浩喜		0	0	0	0	1
8	/	田中 駿也		10	2	2	0	2	8	/	伊藤 健太		-	-	-	-	0
9	/	善家 耕太郎		0	0	0	0	1	9	/	中山 祐樹		27	0	10	7	3
10	/	岡本 飛竜		7	0	2	3	3	10	×	熊谷 慎也		4	0	2	0	2
11		中島 蒼		-	-	-	-	0	11		秋葉 真司		-	-	-	-	0
12	/	佐藤 友弘		2	0	1	0	1	12	×	野里 惇貴		19	0	8	3	1
13	/	寺園 脩斗		0	0	0	0	1	13	/	土屋 真人		6	2	0	0	2
14	×	ベンドラメ 礼生		18	4	3	0	4	14		金田 海郷		-	-	-	-	0
15	/	山田 将吾		0	0	0	0	0	15	/	中島 強太		4	0	2	0	0
16		平田 貴大		-	-	-	-	0	16	/	松本 大河		6	1	1	1	2
17	/	野中 亮吾		0	0	0	0	0	17	×	佐々木 健登		2	0	1	0	0
18		夏井 隆光		-	-	-	-	0	18	/	小田桐 匡志		3	1	0	0	0
コーチ		北郷 純一郎							コーチ		佐藤 信長						
Aコーチ		丸岡 英文							Aコーチ		平山 智哉						
合計				120	9	40	13	26	合計				87	4	27	21	17

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チームとも試合開始時のディフェンスはマンツーマン。序盤は一進一退の攻防が続くが、延岡学園が#5ジョフのダンクシュートや#14ベンドラメの3Pで徐々にリードを広げる。延岡学園15-8能代工となったところで能代工はたまたまタイムアウト、ディフェンスを2-1-2のゾーンディフェンスに変える。#5ジョフにインサイドを支配され苦しい展開が続く能代工だが、途中出場の#9中山の切れ味鋭い1対1が延岡学園のファウルを誘い、フリースローでじわじわと追い上げる。残り1分を切ったところでタイムアウトを請求した延岡学園はトラップディフェンスを仕掛けるが、能代工はその隙を突き#9中山、#4志水が得点。24-21と能代工が3点差まで追い上げて1Q終了。

2Q、延岡学園はハイポストの#5ジョフにディフェンスが集中すると#7黒木がゴール下に合わせ連続6得点と活躍する。対する能代工も#9中山がオフェンスの起点となり、延岡学園#5ジョフの頭越しにループシュートを決めて観客を沸かせる。能代工は#13土屋の3Pが決まり41-40と1点差まで詰め寄るが、延岡学園は#4岩田がお返しの3Pを沈めるとチームは勢いづき、#5ジョフのバスケットカウントやスティールからの速攻で51-43とリードを広げて前半を終える。

3Q序盤、能代工は好調の#9中山が1対1で強さを発揮し、#12野里、#13土屋のアウトサイドシュートも小気味良く決まり56-52と追い上げる。しかし延岡学園は要所で#14ベンドラメの3Pが有効に決まり流れをつかむと、#5ジョフがオフェンスリバウンドから次々とシュートをねじ込み一気にリードを広げる。2度のタイムアウトを使った能代工だが延岡学園の勢いを止めることができず、83-69と延岡学園がリードを広げて3Q終了。

4Q、能代工は#12野里が高確率でアウトサイドシュートを決めるが、延岡学園にリバウンドを支配されじわじわと引き離される。苦しくなった能代工は積極的に3Pを狙うもののリングに嫌われ、延岡学園はそのリバウンドをことごとく速攻につなげて能代工を突き放す。後半に持ち前の攻撃力を発揮した延岡学園が、120-87と大量得点を挙げて勝利を手にした。